

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	なかむら りょうこ		
氏名	中村 涼子		
所属・役職	一般社団法人ソラトチ 代表理事 アールオフィス行政書士事務所 シェアリングエコノミー伝道師		
活動拠点	佐賀県多久市		
略歴	大学卒業後、多久市役所に入庁。さまざまな課で地方行政を経験。商工観光課時代には、地方創生等の補助金を活用し、「シェアリングエコノミー」に力を注ぎ、多久市を全国初の「シェアリングシティ」へと導き、注目を集める。また令和3年度には、地方創生テレワーク交付金を活用し、多久市内にテレワーク拠点を整備、3社の企業誘致にも尽力し、コロナ禍でのテレワーク環境の整備が進む。令和4年は、株式会社トルビズオンのスタートアップ事業に貢献し、一般社団法人ソラトチの代表理事として、佐賀県多久市をモデルとした「空の町づくり」を全国自治体に展開している。		
地域情報化の専門分野・技術	商工、観光		
専門分野	シェアリングエコノミー 子育て テレワーク 農林水産業 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光		
自治体向けメッセージ	シェアリングエコノミーの多岐にわたる分野の中で、多久市では、スキルのシェアに目を向け、在宅ワーカーの育成と、体験型観光に取り組んでいます。さらに、空のシェアリングエコノミーにも取り組み、物流ドローン配送を起点とした地域課題の解決につながる空の道開発に協力。自治体職員としての経験を活かし、各種補助金等を活用して、スモールスタートでも新規事業への取り組みを進めていきます。		
関連サイト	https://www.city.taku.lg.jp/		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	シェアリングエコノミーの活用 ①クラウドを活用した在宅ワーカーの育成 ②体験型観光のコンテンツの造成とマッチング ③空の道開発による地域課題解決	
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	地方創生加速化交付金を活用した「在宅ワーカー」の育成とシェアリングエコノミーセミナーの実施。 テレワーク交付金を活用した、サテライトオフィスの整備とIT企業誘致。ドローン関連ビジネスのマッチング。 総務省過疎自立補助金活用によるドローン配送事業 各種補助金申請。	